GAUDI

DVDプレーヤー

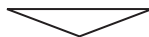
取扱説明書

GHV-DV400Hシリーズ

・本製品は日本国内専用に製造および販売されています。
・本製品は日本国外では使用できません。
・日本国外で使用された製品によるいかなる問題に対しても弊社は責任を負いかねます。
・日本以外の国での製品の技術サポートおよびサービスは一切行なっておりません。

・This product is manufactured and sold for Japanese domestic market only.
・This product can not be used outside Japan.
・We have no responsibility for any issues caused by the use of this product outside Japan.
・We also do not have any technical support and service for this product in other countries.

設置の手順

製品構成を確認します。
(1 ページ)

本取扱説明書の「安全上のご注意」「使用上のお願い」「ディスクについて」「各部のなまえ」をよく読みます。
(3 ～ 22 ページ)

準備を行います。
(23 ページ)

本製品の電源をオンにします。
(24 ページ)

製品構成の確認

パッケージの中に以下のものがすべてそろっている事をご確認ください。

□GHV-DV400H(本体)	1台
□専用リモコン	1個
□映像/音声出力専用ケーブル(コンポジット)	1本
□HDMIケーブル	1本
□単4形アルカリ乾電池(リモコン用)*	2本
□取扱説明書(本書)	1部
□１年間保証書	1部

* 付属のリモコン用ボタン電池はモニタ用のため、寿命が短い場合があります。ご了承ください。

目次

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書は、製品を安全に正しくお使いいただく上で、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

■表示の説明

この表示を守らないと、人が死亡したり、重傷を負うおそれがあります。

この表示を守らないと、人がケガをしたり、物的損害が発生するおそれがあります。

なお、⚠**注意**記載された事項や本文中の注意事項でマークの無い注意事項でも状況によっては、重大な結果に結びつく可能性があります。必ず「安全上のご注意」を守ってください。

■絵表示の例

△ 記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⊘ 記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中や近くに具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠警告（もし異常が起こったら）

プラグを抜く

●煙が出ていたり、変なにおいや音がするときは、すぐに電源スイッチをオフにし、電源ケーブルをコンセントから抜く。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認し、販売店または弊社テクニカルサポートに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

プラグを抜く

●内部に水や異物が入った場合は、すぐに電源スイッチをオフにし、電源ケーブルをコンセントから抜く。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店または弊社テクニカルサポートにご連絡ください。

プラグを抜く

●落としたり、キャビネットを破損した場合は、電源スイッチをオフにし、電源ケーブルをコンセントから抜く。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店または弊社テクニカルサポートにご連絡ください。

プラグを抜く

●電源ケーブルのコードが傷んだり、発熱したときは、すぐに電源スイッチをオフにし、電源ケーブルをコンセントから抜く。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店または弊社テクニカルサポートにご連絡ください。

⚠警告

電源について

100V以外禁止

●交流 100 ボルト(50/60Hz)のコンセントに接続する

交流100ボルト以外を使用すると、火災・感電の原因となります。また、たこ足配線等で、コンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。発熱による火災の原因となります。

禁止

●国外で使用しない

本製品を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。

プラグを抜く

●電源プラグの刃や刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源ケーブルを抜いてから乾いた布で取り除く

そのまま使用すると火災·感電の原因となります。また、電源ケーブルの刃にほこりがたまると自然発火(トラッキング現象)を起こす可能性があります。年に数回、定期的に刃のほこりを取り除いてください。

禁止

●電源ケーブルのコードの上に重い物をのせない

コードが本製品の下敷きにならないようにしてください。また、コードが引っ張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災·感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気づかず、重い物をのせてしまうことがあります。

禁止

●電源ケーブルのコードは

・傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしない

・引っ張ったり、はさんだりしない

・無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない

コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら（芯線の露出、断線など)、販売店または弊社テクニカルサポートに交換をご依頼ください。

設置について

禁止

●ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所や振動のある場所に置かない

本製品が落ちたり、倒れたりしてケガの原因となることがあります。

風呂場･シャワー室での使用禁止

●風呂場・シャワー室など、水のかかるおそれのある場所では使用しない

火災・感電・故障の原因となります。

水ぬれ禁止

●水が入ったり、ぬらさないようにする

本製品は防水設計されておりません。ぬらさないようにご注意ください。
内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

使用について

分解禁止

●修理・改造・分解はしない

本製品のキャビネットを外したり、改造したりしないでください。内部には、電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店または弊社テクニカルサポートにご依頼ください。

ぬれ手禁止

●ぬれた手で電源ケーブルを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

禁止

●異物を挿入しない

ディスクトレイから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

接触禁止

●雷が鳴り出したら本製品や電源プラグに触れない

感電の原因となります。

⚠注意

設置について

必ず行う

●電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源ケーブルの刃に触れると感電することがあります。

禁止

●電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しない

発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

禁止

●電源プラグを抜く時はコードを引っ張らない

コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずコンセント部を持って抜いてください。

禁止

●電源プラグのコードを熱器具に近づけない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

●温度が高い場所に置かない

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所、ストーブの近くなど、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。

禁止

●調理台や加湿器のそばなど、油煙、湿気、ほこりの多い場所に置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因となることがあります。また、たばこの煙なども機器の故障の原因になることがあります。

注意

●移動させる場合は外部の接続コード類を外してから行う

コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

注意

●接続する機器の取扱説明書の指示に従う

テレビ、オーディオ機器、スピーカーなどに機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

⚠注意

使用について

禁止

●ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない

ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってケガの原因となることがあります。

禁止

●本製品のレーザー光源をのぞきこまない

レーザー光が目に当たると、視力障害を起こすことがあります。

禁止

●長時間音が歪んだ状態で使わない

本製品に接続したスピーカー等が発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止

●本製品に乗ったりしない

特にお子様はご注意ください。倒れたり、こわれたりしてケガの原因となることがあります。

注意

●ピックアップレンズに触れない

ピックアップレンズに触れると故障の原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

注意

●ヘッドフォンをご使用になる時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

禁止

●テレビやオーディオシステムの音量を上げすぎない

音量を上げすぎると、耳への刺激で聴力に悪い影響を与えたり、ご近所の迷惑になります。特に夜間は、日中よりも音量を下げるようにしてください。

プラグを抜く

●旅行などで長期間ご使用にならない時は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、漏電などにより、火災の原因となることがあります。また、ディスク保護のため、ディスクも取り出しておいてください。

⚠注意

電池について

禁止

●指定以外の電池は使用しない

注意

●極性表示(プラス(＋)マイナス(－)の向き)に注意し、表示通りに入れる

間違えると、電池の破裂、液もれにより、火災・ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

●長時間使用しない時は、電池を取り出す

電池を取出す

●電池に表示されている[使用推奨期限]を過ぎたり、使い切った電池は入れておかない

電池から液がもれて火災･ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液に直接触れずによくふきとってから新しい電池を入れてください。また万一、液が皮膚や衣服についた時は、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目に入った時は、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。

禁止

●充電・加熱・分解・ショートしたり、水や火の中に入れない

電池の破裂、液もれにより、火災・ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

保守・点検について

注意

●5年に一度くらいの周期で、内部の掃除を販売店などにご相談ください

内部にほこりがたまったまま長い時間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。

注意

●お手入れの際は安全のために、電源プラグをコンセントから外してから行ってください

感電の原因となることがあります。

末永くお使いいただくために

動作中に移動させない

●動作中に本製品を移動させないでください。ディスク再生中はディスクが高速回転しているために、ディスクを傷つけるおそれがありますので特にご注意ください。

動作中に電源プラグを絶対に抜かない

●動作中に電源ケーブルを外してしまうと本製品が故障したり、ディスクを破損したりするおそれがあります。本製品の動作中には電源ケーブルを外さないでください。外す前には必ず電源をオフにしてください。

設置場所についてのご注意

●水平で安定した場所を選んで設置してください。ぐらぐらする机や、傾いている所など不安定な場所には設置しないでください。ディスクが外れるなどして、故障の原因となります。
●本製品を設置する場所は、本製品の重さに十分に耐えられることを確認してください。
●本製品が落下した場合にケガの原因となるため、高い場所への設置はしないでください。
●テレビやカラーモニターの上に本製品を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。
●本製品をテレビやラジオ、ビデオの近くに置く場合には、本製品を使用中、組み合わせによっては画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一このような症状が発生した場合は、テレビやラジオ、ビデオからできるだけ離してください。
●次のような場所への設置は避けてください。
・直射日光のあたるところ
・湿気の多い所や風通しの悪いところ
・極端に暑い所や寒いところ、急激な温度変化のあるところ
・振動のあるところ
・ほこりの多いところ
・油煙、蒸気、熱などがあたるところ（台所など）

上に物をのせない

●本製品の上に物をのせないでください。

使わないときは電源を切っておく

●ディスクトレイからディスクを取り出し、電源をオフにしてください。
●長時間使用しないときは、電源ケーブルを外してください。
●テレビ放送やラジオ放送の電波状態により、本製品の電源をオンにしたままテレビやラジオを点けると画面にしま模様が出たり、雑音が出たりする場合があります。このような場合は本製品の電源をオフにしてください。

本製品を移動する場合のご注意

●本製品を移動したり梱包したりする場合は、必ずディスクトレイからディスクを取り出し、閉じてください。ディスクをディスクトレイに入れたまま移動しますと、故障の原因となります。

再生するときの制約

●この取扱説明書は、本製品の基本的な操作の仕方を説明しています。DVDビデオディスクは、ディスク制作者側の意図により再生状態が決められていることがあります。本製品はディスク制作者が意図した内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに動作しないことがあります。再生するディスクに付属の説明書もご覧ください。

●ボタン操作中にテレビ画面に「⊘」と表示されることがあります。「⊘」と表示されたときは、本製品もしくはディスクがその操作に対応しておりません。

その他のご注意

●殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。

●ゴムやビニール製品を長時間触れさせることは、キャビネットを傷めますので避けてください。変色したり、印刷や塗装がはげるなどの原因となります。

●長時間ご使用になっていると、本製品が多少熱くなりますが故障ではありません。

製品のお手入れについて

●キャビネットや操作パネル部分のよごれは、柔らかい布でからぶきしてください。

●よごれがひどい場合は、柔らかい布を水で５～６倍に薄めた中性洗剤に浸して、よく絞ってからよごれをふきとり、その後乾いた布でからぶきしてください。

●アルコール、シンナー、ベンジンなどは絶対に使用しないでください。変色したり、印刷、塗装がはげるなどの原因となります。

●化学ぞうきんをお使いの場合は、化学ぞうきんに添付の注意事項をよくお読みください。

●お手入れの際は、電源ケーブルを外してください。

結露について

結露はディスクや本製品を傷めます。よくお読みください。

冬季などに本製品を寒い所から暖かい室内に持ち込んだり、本製品を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部やピックアップレンズ）に水滴がつきます（結露）。結露したままでは本製品は正常に動作しません。結露の状態にもよりますが、電源ケーブルを外した状態で数時間放置し、完全に乾燥するまで待ってから電源をオンにしてください。また、夏でも、エアコンなどの風が本製品に直接あたると結露がおこることがあります。その場合は、本製品の設置場所を変えてください。

結露はこんなときにおきます

・本製品を寒いところから急に暖かいところに移動したとき。
・暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところで使用したとき。
・夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動して使用したとき。
・湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋で使用したとき。

結露がおきそうなときは、本製品をご使用にならないでください

・結露がおきた状態で本製品をお使いになると、ディスクや部品を傷めることがあります。

免責事項について

●火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた障害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
●本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な障害（事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化･消失など）に関して、弊社は一切の責任を負いません。
●取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
●弊社が関与しないディスク、ファイルなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。

使用できるディスク

下記のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。

ディスク	マーク		内容
DVD ビデオ ディスク			・12 cm / 8 cm ・リージョンコードが2および ALL ・映像方式：NTSC
DVD-R/RW DVD-R DL			・12 cm ※ディスクによっては再生できない場合があります。
DVD+R/RW DVD+R DL			・12 cm ※ディスクによっては再生できない場合があります。
ビデオ CD			・12cm / 8cm ・映像方式：NTSC ・バージョン 1.0 / 2.0
オーディオ CD			・12 cm / 8 cm
CD-R CD-RW			・12 cm ※ディスクによっては再生できない場合があります。

●ディスクにマークがあっても、データの作り方やディスクの状態によって、再生ができない場合があります。そのような場合は、ディスクの発売元にお問い合わせください。

再生できるディスクについて

●本製品は、日本のテレビ方式（NTSC）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをお使いください。

●市販されている DVD ビデオディスクでも再生できないことがあります。

再生できないディスクの種類

●リージョンコードが「2」または「ALL」以外の DVD ビデオ。

●DVD オーディオ、DVD-ROM、DVD-RAM など、使用できるディスクに記載のない規格のもの。

●フォト CD、CD-G、CD-ROM、CD-EXTRA のデータなど。

DVD±R/DVD±RW/DVD±R DL ディスクの再生について

●ディスクや、データの記録状態によっては、再生できない場合があります。

●ファイナライズしていない DVD±R/DVD±RW ディスクを再生することはできません。

著作権保護機能 (CPRM) のついたディスクの再生について

●著作権保護機能「CPRM(Content Protection for Recordable Media)」対応のディスクに録画された、地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送には著作権保護のためにコピー制御信号が記録されています。本製品は CPRM の VR モード再生に対応しておりますが、記録状態によっては再生できない場合があります。

CD-R/CD-RW ディスクの再生について

●本製品は、オーディオCD、またオーディオCD形式で記録された CD-R/CD-RW ディスクを再生することができます。ただしディスクや、データの記録状態によっては、再生できない、ノイズが出る、音が歪むなどが起きることがあります。

コピーコントロール機能のついたオーディオ CD の再生について

●複製制限機能（コピーコントロール機能）のついたオーディオCDの中には、正式なCD規格に合致していないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本製品で再生できない場合があります。

ディスクの取り扱いかた

●再生面には手を触れないでください。

●ディスクに紙やシールを貼らないでください。

ディスクのお手入れのしかた

●ディスクに指紋、ほこりなどのよごれが付くと、画像の乱れや音質低下、音とびの原因となったり、再生できなくなります。このようなときは、柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭いてください。

●よごれがひどいときは、柔らかい布を水に浸してよく絞ってからよごれをふき取り、その後乾いた布で水気をふき取ってください。

●シンナーやベンジンなど、揮発性の薬品は絶対に使用しないでください。

●アナログ式レコード専用のクリーナー、静電気防止剤などは使用できません。ディスクを傷める原因となります。

ディスクの保管のしかた

●高温の場所や直射日光の当たる場所、極端に温度の低い場所を避けて保管してください。

●浴室や加湿器のそばなど、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。

●ディスクは必ず専用ケースに入れて保管してください。専用ケースに入れずに重ねたり、立てかけたりすると、変形する原因となります。

●ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

ディスクについてのご注意

●損傷のあるディスク（ひびやそりのあるディスク）は使用しないでください。

●ディスクの信号面にキズやよごれを付けないでください。

●ディスクに紙やシールなどを貼らないでください。ディスクにそりが発生し、再生できなくなるおそれがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってあることが多く、のりなどがはみ出している場合があり、ディスクの回転に支障が出るおそれがあります。のりなどのはみ出しがないことを確認してからご使用ください。

●ディスクを２枚重ねて再生しないでください。

特殊な形のディスクについて

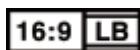
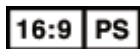
●本製品では、特殊な形のディスク（ハート型や六角形等）は再生できません。故障の原因となりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。

ディスクの結露について

●冬期などにディスクを寒いところから暖かい室内に持ち込んだとき、ディスクの表面に水滴が付くことがあります（結露）。ディスクが結露していると、正常に再生ができないことがありますので、ディスクの表面の水滴をよくふき取ってからご使用ください。

ＤＶＤに表示されるマークについて

DVD のディスクレーベル、またはパッケージには以下のようなマークが表示されています。

マーク例	内容
	記録されている音声の数を示します。 （左の例は、日本語、英語などの 2 種類の音声が収録されています）
	記録されている字幕の数を示します。 （左の例は、日本語、英語などの 2 種類の字幕が収録されています）
	記録されている角度（マルチアングル）の数を示します。 （左の例は、3 種類の角度で収録されています）
	横：縦 ＝ 4：3 の標準サイズで記録されていることを示します。
	レターボックス(横：縦＝4：3 で上下に黒帯が入っている画面)で記録されていることを示します。
	横：縦 ＝ 16:9 のワイドサイズで記録されており､標準サイズ(4:3)のテレビの場合はレターボックスで再生されるように指定されることを示します。
	横：縦＝16：9 のワイドサイズで記録されており、標準サイズ（4：3）のテレビの場合はパン＆スキャン（両側または片側が切れた画面）で再生されるように指定されることを示します。

リージョンコード（地域番号）

リージョンコードについて

●DVD プレーヤーと DVD ビデオディスクには、発売地域ごとに地域番号（リージョンコード）が設定されています。DVD ディスクに表示されている地域番号（リージョンコード）と一致しないと再生できません。

本製品の地域番号 (リージョンコード) は “2” です。

本製品で再生できる DVD ディスクのリージョンコードについて

●DVD ビデオディスクに再生限定地域を表すリージョンコードが表示されている場合には、そのリージョンマークの中 [2] のように “2” が含まれているか、または [ALL] が表示されていないと、本製品では再生できません。

著作権について

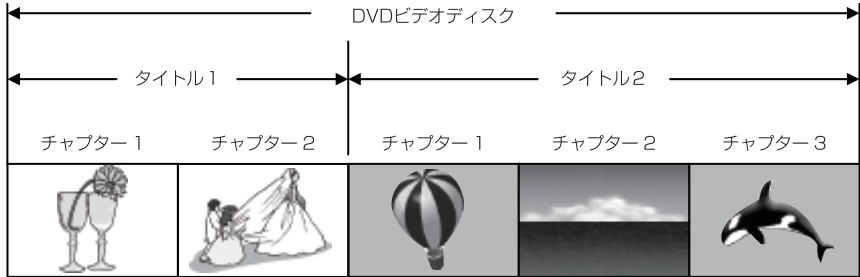
●ディスクを無断で複製、放送、上演、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは法律により禁じられています。

●本製品は、合衆国特許権と知的所有権上保証された著作権保護技術（マクロビジョン方式）を搭載しています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョンコーポレーションの認可が必要であり、マクロビジョンコーポレーションの認可なしでは、一般家庭用または他の限られた視聴用だけに使用されるようになっています。また、本製品を分解したり、改造することも禁じられています。

●ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro Logic およびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

ディスクの内容の区分

タイトル、チャプター、トラック

DVD ビデオディスクは、「タイトル」という大きい区切りと、「チャプター」という小さい区切りに分かれています。

ビデオ CD / オーディオ CD は、「トラック」で区切られています。

タイトル　：DVD ビデオディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったもの。

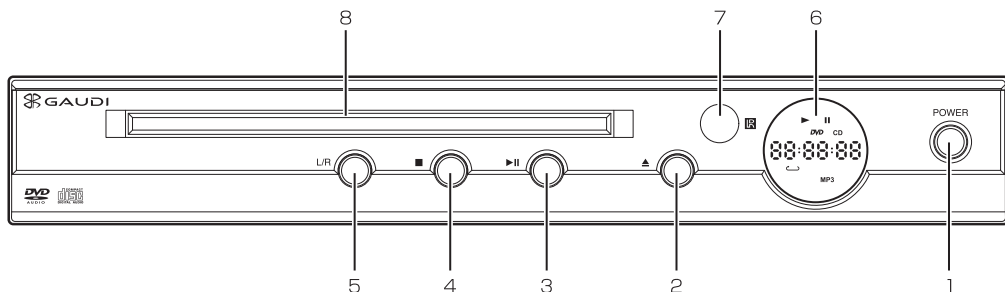
チャプター：タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったもの。

トラック　：ビデオ CD / オーディオ CD の内容を曲ごとに区切ったもの。

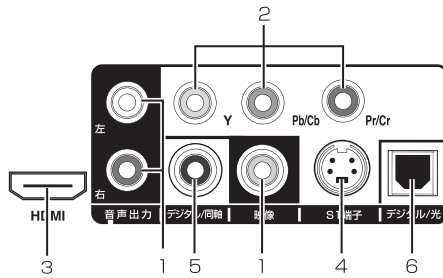
それぞれのタイトル、チャプター、トラックには、順番に番号がふられています。
これらの番号を「タイトル番号」、「チャプター番号」、「トラック番号」といいます。

●ディスクによっては、それぞれの番号が記録されていないものもあります。

前面図 / 背面図

前面図

1：【電源】ボタン	・・・	本製品の主電源のオン / オフをします
2：【開/閉】ボタン	・・・	ディスクトレイを開き (閉じ) ます
3：【再生/一時停止】ボタン	・・・	再生 / 一時停止します
4：【停止】ボタン	・・・	再生中のディスクを停止します
5：【音声切替】ボタン	・・・	音声 (ステレオ / モノラル) を切り替えます
6：ディスプレイ	・・・	再生時間や動作モードを表示します
7：リモコン受光部	・・・	リモコンから操作を受信します
8：ディスクトレイ	・・・	ディスクをセットします

●上記は一例です。ディスクや本製品で実行中のメニューによって動作は異なります。

背面図

1：コンポジット端子(黄、赤、白)× 各 1

2：コンポーネント端子(Y、Pb/Cb、Pr/Cr)× 各 1

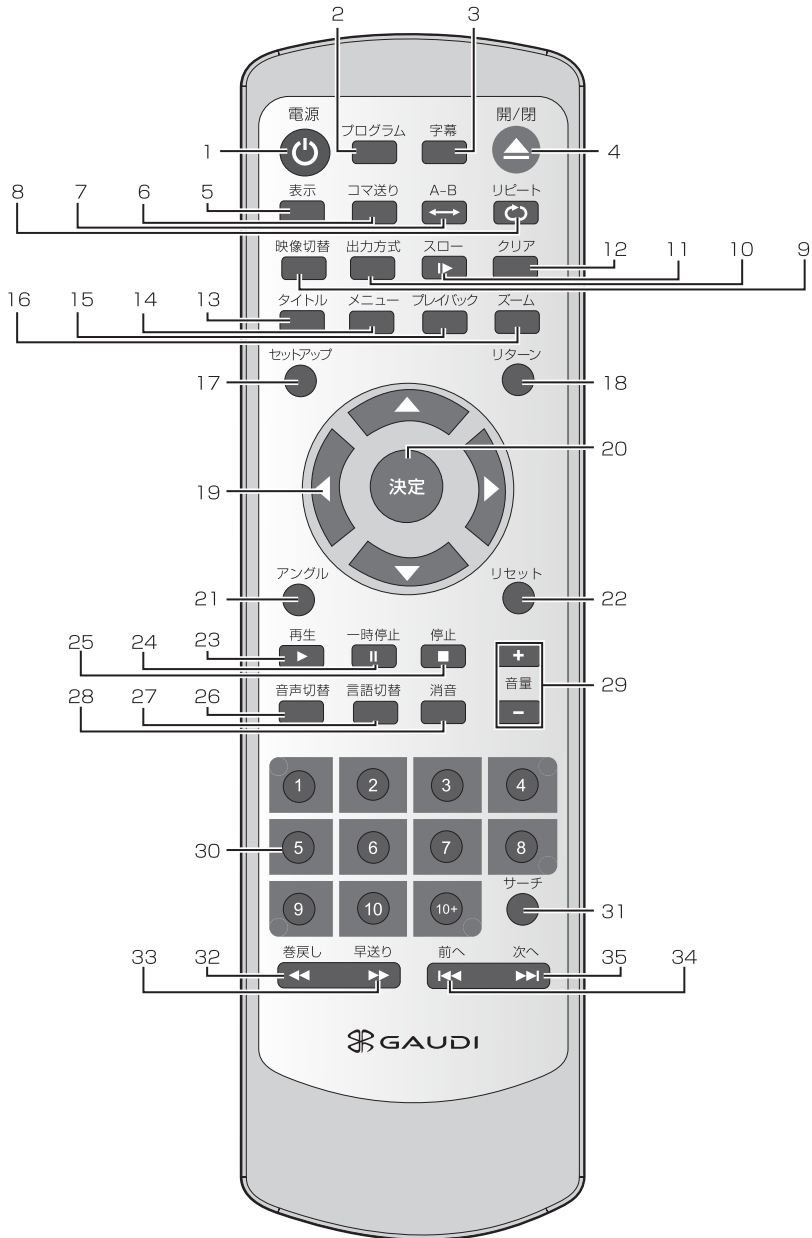
3：HDMI 端子

4：S1 映像端子

5：同軸デジタル音声端子

6：光デジタル音声端子(角形)

リモコン

電源
プログラム
字幕
開/閉
表示
コマ送り
A-B
リピート
映像切替
出力方式
スロー
クリア
タイトル
メニュー
プレイバック
ズーム
セットアップ
リターン
決定
アングル
リセット
再生
一時停止
停止
音声切替
言語切替
消音
音量
サーチ
巻戻し
早送り
前へ
次へ
GAUDI

1：【電源】　・・・　本製品をスタンバイ状態へ移行(復帰)します
2：【プログラム】　・・・　プログラム再生を行います
3：【字幕】　・・・　字幕を表示します
4：【開 / 閉】　・・・　ディスクトレイを開き(閉じ)ます
5：【表示】　・・・　再生時間を表示します
6：【コマ送り】　・・・　コマ送り再生をします
7：【A-B】　・・・　指定区間のリピート再生をします
8：【リピート】　・・・　リピート再生の設定をします
9：【映像切替】　・・・　映像出力を切り替えます (YUV/S-VIDEO)
10：【出力方式】　・・・　テレビタイプを切り替えます (NTSC/PAL)
11：【スロー】　・・・　スロー再生します
12：【クリア】　・・・　テンキーボタンで入力した数字を消去する場合などに使用します
13：【タイトル】　・・・　タイトルメニューを表示します
14：【メニュー】　・・・　ルートメニューを表示します
15：【プレイバック】　・・・　ビデオ CD 再生時に頭出しを行います
16：【ズーム】　・・・　映像の拡大再生や画像の拡大表示を行います
17：【セットアップ】　・・・　設定メニューを表示します
18：【リターン】　・・・　ルートメニューを表示します
19：カーソルボタン　・・・　カーソルの移動します
20：【決定】　・・・　各項目を決定します
21：【アングル】　・・・　再生中の映像アングルを切り替えます
22：【リセット】　・・・　OSDメニューの設定を工場出荷値に戻します
23：【再生】　・・・　ディスクやファイルを再生します
24：【一時停止】　・・・　再生中のディスクやファイルを一時停止します
25：【停止】　・・・　再生中のディスクやファイルを停止します
26：【音声切替】　・・・　音声 (ステレオ/モノラル) を切り替えます
27：【言語切替】　・・・　再生中の音声言語を切り替えます
28：【消音】　・・・　消音にします
29：【音量＋】【音量－】　・・・　再生中の音量を調整します
30：テンキーボタン　・・・　入力した番号のチャプターやトラックへ移動します
31：【サーチ】　・・・　再生時間を指定してサーチ再生します
32：【巻戻し】　・・・　再生中のディスクやファイルの巻戻しをします
33：【早送り】　・・・　再生中のディスクやファイルの早送りをします
34：【前へ】　・・・　再生中の前のチャプターやトラックの開始地点へ移動します
35：【次へ】　・・・　再生中の次のチャプターやトラックの開始地点へ移動します

●上記は一例です。ディスクや本製品で実行中のメニューによって動作は異なります。

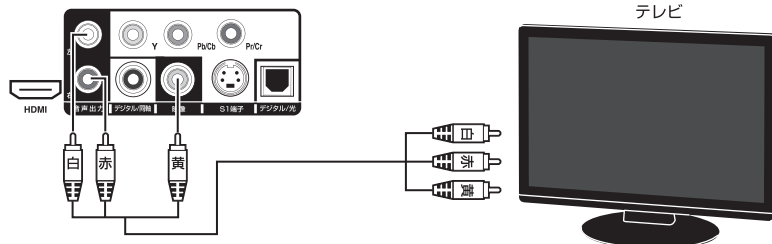
リモコンに電池を入れる

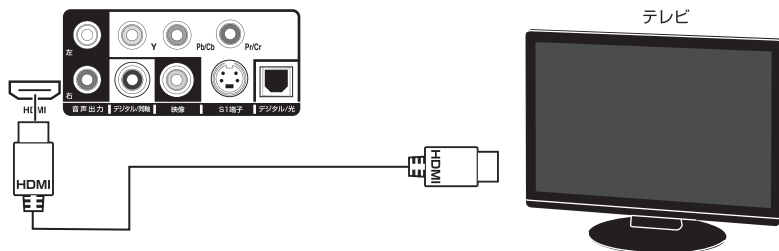
付属または市販の単 4 形乾電池 2 本をリモコンに入れます。

●新しい電池と古い電池、種類の違う電池を一緒に使わないでください。
●長期間ご使用にならない場合は、リモコンから電池を抜いてください。
●電池の「+」「－」の極性を間違えないように装着してください。

テレビと接続する

本製品とテレビの接続方法を紹介します。

■映像 / 音声出力専用ケーブル(コンポジット)で接続する

図のように付属の映像 / 音声出力専用ケーブル (コンポジット) でテレビのビデオ入力端子に接続してください。

■HDMI ケーブルで接続する

図のように付属の HDMI ケーブルでテレビの HDMI 入力端子に接続してください。

●テレビによって画面の比率が乱れる場合がありますがご了承ください。
●上記以外の方法で接続する場合は別途ケーブルをご用意ください。また、本製品の設定変更が必要になりますので、「セットアップ画面の操作」（P.36）をご覧ください。

操作方法と解説について

本製品の操作の多くは付属のリモコンから行います。操作方法はリモコンを中心に解説いたしますのでご了承ください。
また、解説内容も DVD ビデオを挿入した場合を中心に解説いたします。
オーディオCDを挿入した場合、使用できる機能や画面が一部異なる場合がありますが、操作方法はになりますの同様で置き替えてご覧ください。

電源操作

本項目では電源の操作方法を紹介します。

主電源をオンにする

本製品前面の【POWER】ボタンを押すと、電源がオンになり、画面には「GAUDI」の壁紙が表示されます。

主電源をオフにする

本製品前面の【POWER】ボタンを再度押すと、電源がオフになります。

電源をオンにする（スタンバイモードから復帰する）

電源

本製品の電源がスタンバイモードの状態からリモコンの【電源】ボタンを押すと、電源がオンになります。

●本製品の主電源がオフの状態ではリモコンの【電源】ボタンを押しても動作しません。

電源をオフにする（スタンバイモード）

電源

本製品の電源がオンの状態でリモコンの【電源】ボタンを押すと、スタンバイモードになります。

DVD ビデオディスクを再生する（基本編）

本項目では DVD ビデオディスクの基本操作を紹介します。

●DVD ビデオディスクの収録状態によって、操作ができない場合があります。
●CPRM で記録した DVD ビデオディスクは解説する機能が使用できない場合があります。
●本製品で再生できないディスクや、ディスク以外のものをディスクトレイに入れないでください。

ディスクを再生する

1. ディスクトレイを開けます

本製品前面の【開 / 閉】ボタンか、リモコンの【開 / 閉】ボタンを押してディスクトレイを開けます。

2. ディスクを入れます

再生面を下にして、ディスクトレイにディスクをセットします。

3. ディスクトレイを閉めます

本製品前面の【開 / 閉】ボタンか、リモコンの【開 / 閉】ボタンを押してディスクトレイを閉じます。
自動的に再生が開始されます。

音量調整する

再生中にリモコンの【音量＋】/【音量−】ボタンを押すと音量調整ができ、「0」〜「20」の間で調整できます。

消音

消音にしたい場合は、再生中にリモコンの【消音】ボタンを押します。画面左下に「ミュート」と表示され消音状態となります。消音状態を解除するには、もう 1 度【消音】ボタンを押してください。

再生を停止する

停止

■

リモコンの【停止】ボタンを押します。
再生が停止し、「GAUDI」のロゴ画面になり「■」と表示されます。
オーディオ CD の場合は、常に「GAUDI」のロゴ画面が表示されています。

リモコンの停止ボタンを 1 度押した場合は停止位置が記録されます。ボタンを 2 度押した場合は停止位置が記憶されませんので、ディスクの先頭から再生が開始されます。

停止した位置から再開する

再生

▶

再生停止状態より、リモコンの【再生】ボタンを押します。
【停止】ボタンを 1 度押していた場合は記憶してある停止位置から再生が再開され、【停止】ボタンを 2 度押していた場合はディスクの先頭から再生されます。

一時停止する

一時停止

II

再生中にリモコンの【一時停止】ボタンを押すと一時停止できます。
通常再生に戻るには【再生】ボタンを押してください。

ディスクの先頭から再生する

停止

■ ×2 回

リモコンの【停止】ボタンを続けて 2 回押します。画面右上に「■」が表示されます。

再生

▶

リモコンの【再生】ボタンを押すと、ディスクの先頭から再生されます。

早送り / 巻戻しする

再生中にリモコンの【早送り】/【巻戻し】ボタンを押すと、早送り / 巻戻し再生になります。

早送り

【早送り】ボタンを押すごとに、早送りスピードが 2× ～ 32× で変化します。

巻戻し

【巻戻し】ボタンを押すごとに、巻戻しスピードが 2× ～ 32× で変化します。

再生　巻戻し　早送り

通常再生に戻るには 32× の状態で、もう一度【早送り】/【巻戻し】ボタンを押します。
リモコンの【再生】ボタンを押しても戻れます。

●【早送り】/【巻戻し】再生中は音声出力されません。

前後のチャプターへ移動する

再生中にリモコンの【次へ】/【前へ】ボタンを押すと、前後のチャプターを選択できます。

次へ

【次へ】ボタンを押すと、次のチャプターの開始地点へ移動します。

前へ

【前へ】ボタンを押すと、前のチャプターの開始地点へ移動します。

タイトル / ルートメニュー画面を表示する

タイトルメニュー画面やルートメニュー画面が記録されている DVD ビデオディスクでは、各画面からチャプターを選んで再生や、音声や字幕の設定ができるものがあります。

タイトル　メニュー

リモコンの【タイトル】/【メニュー】ボタンを押します。DVD ビデオディスクに収録されたメニュー画面が表示されます。

リモコンのカーソルボタンで再生したい項目や、設定したい項目を選びます。

決定

リモコンの【決定】ボタンを押すと選択した項目が決定されます。

DVD ビデオディスクを再生する(応用編)

本項目では DVD ビデオディスクの応用操作を紹介します。

リピート再生する

DVD ビデオディスクで、ご覧になりたい「チャプター」「タイトル」をリピートして再生できます。

リピート

リモコンの【リピート】ボタンを押すごとに、以下のリピートモードを切り替えできます。

チャプター	・・・	現在のチャプターを繰り返し再生します。 チャプターの最後まで来ると、チャプターの先頭から再生が始まります。
タイトル	・・・	現在のタイトルを繰り返し再生します。 タイトルの最後まで来ると、タイトルの先頭から再生が始まります。
オール	・・・	ディスク全体を繰り返し再生します。
(表示なし)	・・・	リピート再生を無効にします。(通常再生に戻ります。)

指定区間をリピート再生する

ご覧になりたい 2 点間を指定して繰り返し再生できます。

A–B

再生中に開始位置に指定したい場面でリモコンの【A-B】ボタンを押します。画面左上に「A」と表示され開始位置が指定されます。

A–B

「A」と表示されている状態で終了位置に指定したい場面でもう 1 度【A-B】ボタンを押します。「A-B」と表示が切り替わり、指定区間がリピート再生されます。
通常再生に戻るには「A-B」と表示されている状態で、もう 1 度【A-B】ボタンを押してください。

コマ送り再生する

コマ送り

リモコンの【コマ送り】ボタンを押すごとに、映像がコマ送り再生できます。
通常再生に戻るにはリモコンの【再生】ボタンを押してください。

スロー再生する

スロー

再生中にリモコンの【スロー】ボタンを押すごとに「1/2」「1/4」「1/8」「1/16」と再生速度を変更できます。
通常再生に戻るには「1/16」の状態で、もう 1 度【スロー】ボタンを押してください。また、【再生】ボタンを押しても戻れます。

●スロー再生中は音声再生されません。
●オーディオ CD では機能しません。

テンキーボタンを使ってサーチ再生する

チャプターやトラックを指定して頭出し再生できます。
リモコンのテンキーボタンで、目的のチャプター番号やトラック番号を押すと、
その番号のチャプターまたはトラックから再生されます。

10 以上の番号を指定する場合は、リモコンの【10+】ボタンで入力してください。
【10+】ボタンを複数回押すと、10 の位の値が増加します。

サーチボタンを使ってサーチ再生する

サーチ

リモコンの【サーチ】ボタンで、ご覧になりたいチャプターや時間を指定して、頭出し再生できます。数字の入力はテンキーボタンより行います。

1 回ボタンを押すと、例として右のように表示され
チャプターを指定できます。

TT：01/03　CH：[ ]/36

続けて 2 回ボタンを押すと、例として右のように
表示され時間を指定できます。

TT：01/03　Time [： ：]

続けて 3 回ボタンを押すと、例として右のように
表示され、再生中のチャプター内で時間を指定できます。

CH：01/36　Time [： ：]

再生中の情報を表示する

再生中のディスク情報を画面上部に表示して確認できます。

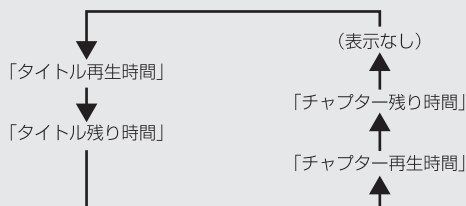
表示

再生中にリモコンの【表示】ボタンを押すと以下のように画面に表示されます。

TT01/03　CH　17/36

※表示は一例です。

1：08：26

リモコンの【表示】ボタンを押すごとに情報表示が切り替えできます。

●ディスクの状態によっては、時間などが正常に表示されない場合があります。

音声言語を切り替える

複数の音声が記録されている DVD ビデオディスクは、音声言語の切り替えができます。

※例：DVD ビデオディスクに「日本語」と「英語」が収録されている場合はどちらか選択できます。

言語切替

再生中にリモコンの【言語切替】ボタンを押すごとに音声が切り替わります。

●ディスクによっては、メニュー画面を使って音声を切り替える場合があります。
●1 つの音声しか記録されていないディスクでは、音声の切り替えはできません。
●本製品では DTS 収録された音声は再生できません。

字幕言語を切り替える

字幕が記録されているディスクでは、字幕の表示 / 非表示を切り替えられます。また、複数の字幕が記録されているディスクでは、字幕を切り替えられます。

字幕

再生中にリモコンの【字幕】ボタンを押すごとに表示される字幕が切り替わります。

●ディスクによっては、メニュー画面を使って字幕を切り替える場合があります。
●字幕が記録されていないディスクや、1 つの字幕しか記録されていないディスクでは、字幕の切り替えはできません。

ズーム再生する

ズーム

再生中にリモコンの【ズーム】ボタンを押すごとに「2×」「3×」「4×」「1/2」「1/3」「1/4」と表示され、切り替えできます。拡大表示中はカーソルボタンで移動できます。
通常再生に戻るには「1/4」の状態で、もう 1 度【ズーム】ボタンを押してください。

●ディスクによってはズーム再生できないものがあります。
●場面によっては、ボタン操作が正しく働かないことがあります。

アングルを切り替える

アングル

再生中にリモコンの【アングル】ボタンを押すと、アングルが切り替えられます。
テンキーボタンでご覧になりたいアングル番号を入力してください。

●ディスクによっては、メニュー画面を使ってアングルを切り替える場合があります。
●1 つのアングルしか記録されていないディスクでは、アングルの切り替えはできません。

プログラム再生

お好みの順にチャプターを 20 番目までプログラムして再生できます。

プログラム

再生中にリモコンの【プログラム】ボタンを押すと画面に下図のようなメニューが表示されます。

① ・・・ 「TT:」にはタイトル番号を「CH:」にはチャプター番号を入力します。
リモコンの【決定】ボタンで入力モードに切り替わり、テンキーボタンで数字が入力できます。
リストから消去したい場合は【クリア】ボタンを押してください。

② ・・・ 「プログラム再生」画面を終了します。

③ ・・・ ①に登録したプログラム再生をスタート(停止)します。

④ ・・・ ボタンを押すと、11～20番目まで登録できる画面に切り替わります。

プログラム再生を終了するには、もう1度【プログラム】ボタンを押して「停止」を選択してください。

●ディスクによってはプログラム再生機能が有効にならない場合があります。
●例 : 数字の 25 を入力する場合はリモコンの 【10+】ボタンを 2 回→【5】ボタンを 1 回押して入力できます。

ファイルメニューの操作

本項目ではファイルメニューの操作方法を紹介します。

再生できるファイル

本製品で再生できるファイル形式は以下の通りになります。

動　画：MPEG1 / MPEG2
音　楽：MP3 / WMA(DRM 非対応)
画　像：JPEG

●対応形式であってもすべてのファイル再生を保証するものではありません。

ファイルメニュー画面を表示する

本製品では対応フォーマット形式の動画ファイル、音楽ファイル、画像ファイルが再生できます。
対応ファイルが記録されたディスクを読み込むとファイルメニューが表示されます。

●日本語のファイル名は正常に表示されません。
●ファイルの作成方法については、弊社テクニカルサポートではサポートを行っておりません。

■ファイルメニューの基本操作

リモコンのカーソルボタンで再生したいファイルを選択し、【決定】ボタンを押してください。
ファイルが再生または表示されます。別のフォルダに移動したい場合は、ルートフォルダを選択し【決定】ボタンまたはカーソルボタンで移動してください。

■ファイル番号を指定して再生する

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 10+

ファイルメニュー画面でリモコンのテンキーボタンを押すとファイル番号を指定して再生できます。
ファイルメニュー左上部の箇所に「--2/009」（テンキーボタンの「2」を押した場合）のように選択した番号が反転表示されるので、リモコンの【決定】ボタンを押してください。

■リピート再生する

リピート

【リピート】ボタンを押すごとに「シングルリピート」「フォルダリピート」「フォルダ再生」が選択できます。

■ファイルの一覧を表示する

プログラム

ファイルメニュー表示中に【プログラム】ボタンを押すと、ディスクに記録されているファイルの一覧を表示します。（フォルダ以外を表示します。）

動画ファイルを再生する

動画ファイルを選択してリモコンの【決定】ボタンを押すとフルスクリーン再生されます。フルスクリーン再生中の基本操作方法は DVD ビデオディスク再生時と同等になります。

サーチ

【サーチ】ボタンを 1 回押した場合はファイル番号を指定して再生できます。再生中にテンキーボタンを押しても指定できます。
2 回押した場合は時間指定してサーチ再生できます。

音声切替

「モノラル左」「モノラル右」「モノラルミックス」「ステレオ」が選択できます。

表示

「シングル再生時間」「シングル残り時間」「表示なし」が選択できます。

メニュー

ファイルメニュー画面に戻ります。

●ファイルメニューで動画ファイルを再生した場合、DVD ビデオディスク再生時の機能が一部使用できません。

音楽ファイルを再生する

音楽ファイルを選択してリモコンの【決定】ボタンを押すと再生されます。再生中の基本操作方法は DVD ビデオディスク再生時と同様になります。主な違いは以下の通りになります。

再生
音楽を再生します。

一時停止
再生を一時停止します。

停止
再生を停止します。

巻戻し　早送り
【早送り】/【巻戻し】ボタン押すごとにスピードが 2× ～ 32× で変化します。

前へ　次へ

【次へ】/【前へ】ボタンを押すと、前後の音楽ファイルに移動できます。

A-B

好みの 2 点間を指定して繰り返し再生できます。

サーチ

【サーチ】ボタンを1回押した場合はファイル番号を指定して再生できます。再生中にテンキーボタンを押しても指定できます。
2 回押した場合は時間指定してサーチ再生できます。

音声切替

「モノラル左」「モノラル右」「モノラルミックス」「ステレオ」が選択できます。

表示

ファイルメニュー画面の上部表示をリピート再生モードの表示に切り替えます。

画像をスライドショー表示する

画像をスライドショー表示できます。

ボタン	説明
再生 ▶	選択した画像ファイルをフルスクリーンでスライドショー表示します。
一時停止 ‖	スライドショー表示を一時停止します。
停止	スライドショー表示を終了してファイルメニュー画面に戻ります。
	反時計回りに 90 度ずつ回転します。
	時計回りに 90 度ずつ回転します。
	上下反転表示します。
	左右反転表示します。
ズーム	スライドショー表示中にボタンを押すごとに拡大表示できます。拡大率は「100%」「125%」「150%」「200%」「50%」「75%」が選択できます。 拡大表示中にカーソルボタンを押すと表示位置を移動できます。
プログラム	スライドショー表示中にボタンを押すごとにスライドショー効果が選択できます。 「ワイプ上」「ワイプ下」「ワイプ左」「ワイプ右」「ワイプ左上」「ワイプ右上」「ワイプ左下」「ワイプ右下」「ワイプ中央→上下」「ワイプ中央→左右」「ワイプ上下→中央」「ワイプ左右→中央」「ブラインド」「ストライプ」「ボックス」「スローワイプ」が選択できます。
サーチ	ファイル番号を指定してスライドショー表示できます。再生中にテンキーボタンを押しても指定できます。
メニュー	ファイルメニュー画面に戻ります。

セットアップ画面の操作

本製品の設定を変更するにはセットアップ画面で設定します。

リモコンの【セットアップ】ボタンを押すと下図のように表示されます。リモコンのカーソルボタンで「基本設定」「音声出力」「デジタル音声」「映像出力」「初期設定」が選択できます。

基本設定

基本設定の変更ができます。

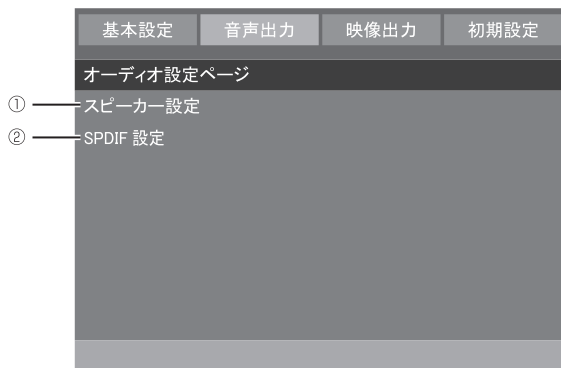
① ・・・ 「4：3/PS」「4：3/LB」「16：9ワイド」が選択できます。

② ・・・ DVDディスクにアングルが収録されている場合、アングルマークを表示するか「オン」「オフ」で設定できます。

③ ・・・ OSDメニューの「英語」「日本語」が選択できます。

④ ・・・ 「オン」「オフ」が選択できます。4分間操作しないとスクリーンセーバーが動作します。動作を解除するには、リモコンのいずれかのボタンを押してください。

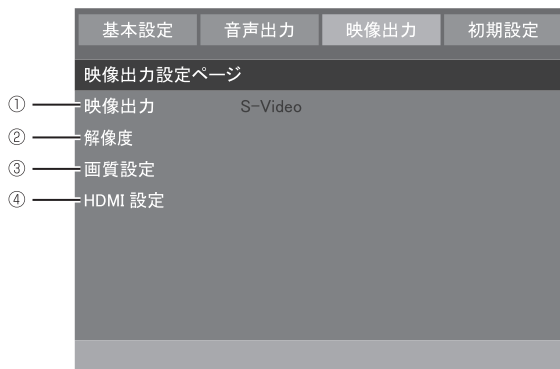
音声出力

音声出力の設定が変更できます。

① ･･･ 「ダウンミックス」の項目を開くと「LT/RT」「ステレオ」が選択できます。「LT/RT」はサラウンド成分をドルビーサラウンドデコードできるようにダウンミックスします。

② ･･･ 「SPDIF/オフ」「SPDIF/RAW」「SPDIF/PCM」が選択できます。
組み合わせは以下の通りになります。

	SPDIF 設定		
出力端子	SPDIF/ オフ	SPDIF/RAW	SPDIF/PCM
コンポジット端子	ステレオ出力	ステレオ出力	ステレオ出力
光デジタル端子	未出力	アンプ出力	ステレオ出力
同軸デジタル端子	未出力	アンプ出力	ステレオ出力
HDMI端子	ステレオ出力	HDMI入力機器/アンプ出力	HDMI入力機器/アンプ出力

映像出力

映像出力の設定が変更できます。

① ・・・ S1端子で出力する場合は「S-Video」、コンポーネント端子で出力する場合は「YUV」を選択してください。
コンポジット端子、HDMI端子で出力する場合は設定の必要はありません。

② ・・・ 映像出力する解像度を「480p」「720p」「1080i」「1080p」が選択できます。

③ ・・・ 次項の「画質設定」をご覧ください。

④ ・・・ HDMI出力の「オン」「オフ」が切り替えられます。

■画質設定

①	・・・	「高」「中」「低」が選択できます。
②	・・・	「－20」～「＋20」で調整できます。
③	・・・	「－16」～「＋16」で調整できます。
④	・・・	「低」「中」「高」が選択できます。
⑤	・・・	「－9」～「＋9」で調整できます。
⑥	・・・	「－9」～「＋9」で調整できます。

※②「ブライトネス」/③「コントラスト」/⑤「色彩」/⑥「彩度」は【決定】ボタンで項目確定後に【左】/【右】ボタンで調整できます。

初期設定

初期設定の変更ができます。

① ・・・ 「PAL」「NTSC」が選択できます（日本は「NTSC」になります）。

② ・・・ 「英語」「日本語」が選択できます。

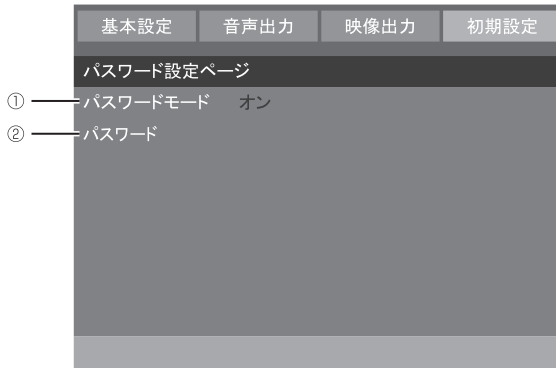
③ ・・・ 「英語」「日本語」が選択できます。

④ ・・・ 「英語」「日本語」が選択できます。

⑤ ・・・ 以下が選択でき、数値が小さいほど、制限が厳しくなります。
1「KID SAFE」 / 2「G」 / 3「PG」 / 4「PG 13」 / 5「PGR」 / 6「R」 / 7「NC17」 / 8「ADULT」
（変更するにはパスワードの入力が必要です）。

⑥ ・・・ 次項の「パスワード」をご覧ください。

⑦ ・・・ セットアップ画面の設定を出荷値に戻します。

■パスワード

① ・・・ 「オン」「オフ」が選択できます。「オン」にするとパスワードの機能が使用できます（変更するにはパスワードの入力が必要です）。

② ・・・ 以下の画面が表示されパスワードの変更ができます。

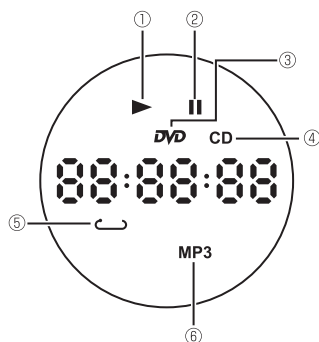
■パスワードの設定

視聴制限を変更する場合にパスワードが求められます。そのパスワードの設定をこの項目から変更できます。

パスワードは数字6桁で設定できます。パスワードを変更する場合は、すでに設定してあるパスワードを「旧パスワード」の覧に入力してください。その後、カーソルが自動的に下に移動しますので「新パスワード」の覧に新しく設定したいパスワードを入力してください。
確認のために「パスワード確認」の覧にもう一度パスワードを入力し、「OK」ボタンで確定してください。

- ●初期設定にリセットを行っても、パスワードはリセットされません。
- ●「旧パスワード」の初期値とマスターパスワードは「136900」になります。変更したパスワードが分からなくなった場合は「旧パスワード」の覧にマスターパスワードを入力し、再度「新パスワード」を入力し直してください。（マスターパスワードの変更はできません。）
- ●パスワードの入力覧の表示は数字で表示されません。「XXXXX」で表示されます。
- ●設定するパスワードは 6 桁である必要があります。4 桁や 7 桁など 6 桁以外の桁数の数字を設定することはできません。

前面ディスプレイ表示の解説

本項目では本製品の前面にあるディスプレイの各動作モードの表示を紹介します。

①：DVD ビデオや対応ファイルの再生中に表示します。
②：一時停止中に表示します。
③：DVD ビデオ再生時に表示します。
④：音楽 CD 再生時に表示します。
⑤：リピート再生時に表示します。
⑥：MP3 ファイル再生時に表示します。

表示		説明
HELLO	HELLO	主電源をオンにすると表示されます。
LOAd	LOAD	ディスク読み込み中に表示されます。
nO Cd	NO CD	ディスクが挿入されていないと表示されます。
OPEn	OPEN	ディスクトレイが開いていると表示されます。
CLOSE	CLOSE	ディスクトレイを閉じる時に表示されます。
rOOt	ROOT	ルートメニューが表示されていると表示されます。
tItLE	TITLE	タイトルメニューが表示されていると表示されます。
01:03:08	（再生中）	再生中の時間が表示されます。
StOP	STOP	再生停止中に表示されます。

●ファイルモードでファイルを再生した場合、DVD ビデオモードの機能以外の表示は同様になります。
●ディスクやファイルの種類により上記の通り表示されない場合があります。

故障かな？と思ったら

電源が入らない	●電源をコンセントへしっかりと差し込み、【POWER】ボタンを入れなおしてください。(P.24)
映像が映らない	●本製品の「映像出力」設定と実際の接続方法が合っているか確認してください。(P.23、P.38)
再生できない	●本製品で再生可能なディスクか確認してください。(P.13) ●リージョンコードを確認してください。 本製品で再生可能なリージョンコードは「2」「ALL」です。 ●ディスクが汚れている場合は、きれいにふいてください。 ●ディスクはラベル面を上に正しくセットしてください。 ●ディスクがトレイに正しくセットされているか確認してください。 ●寒いところから急に暖かいところに持ってきたときなどに、レンズ部に露が付くことがあります。1〜2時間放置してください。
映像が白黒になる	●ディスクの映像タイプを確認してください。 ●「テレビタイプ」がNTSCか確認してください。(P.40)
映像が乱れる	●ディスクが汚れている場合は、きれいにふいてください。 ●サーチ再生中は多少乱れが出ることがありますが、故障ではありません。 ●「テレビタイプ」がNTSCか確認してください。(P.40)
音声が出ない	●本製品の音量とテレビ側の音量を確認してください。 ●早送り/巻戻し再生中に音声は出力されません。 ●セットアップ画面の「音声出力」の設定を確認してください。(P.40)
リモコンがきかない	●主電源をオンにしてください。 ●電池の＋、－の向きを確認してください。 ●電池が消耗している場合は新しいものと交換してください。 ●リモコンを本製品のリモコン受光部に向けて操作してください。 ●リモコンとリモコン受光部の間の障害物を取り除いてください。
字幕が表示されない	●字幕の入っていないディスクでは字幕は表示されません。 ●字幕が「オフ」になっている場合は、【字幕】ボタンで切り替えてください。(P.30)

字幕言語が切り替えられない	●【字幕】ボタンで切り替えられないディスクの場合、ディスクのメニュー画面などで切り替えできる場合があります。
音声言語が切り替えられない	●複数の音声の入っていないディスクでは切り替えできません。(P.30) ●【音声切替】ボタンで切り替えられないディスクの場合、ディスクのメニュー画面などで切り替えできる場合があります。
アングルを変えて見ることができない	●複数のアングルの入っていないディスクでは切り替えできません。(P.31) ●複数のアングルが記録されている場面でのみ切り替えきます。
動画ファイルや音楽ファイルが再生できない	●対応形式であっても再生できない場合はエンコードソフトを変えて試してください。なお、変換方法についてはサポート対象外になりますのでご了承ください。
すべての設定を初期設定に戻したい	●セットアップ画面の「初期設定」を選択し、出荷時の設定に戻してください。(P.40)

静電気や落雷、他の機器との干渉により、本製品が正常に動作しない場合があります。その際は、本製品の電源をオフにしてからオンにするか、電源をオフにしてから電源コードを抜き、再び差し込んでから電源をオンにすることにより正常動作になる場合があります。

仕様

製品型番	GHV-DV400Hシリーズ
再生対応ディスク	DVDビデオ / オーディオCD / CD-R / CD-RW / ビデオCD DVD±R / DVD±RW / DVD±R DL
CPRM再生対応ディスク	DVD-R / DVD-RW / DVD-R DL
再生可能フォーマット	動画 : MPEG1 / MPEG2 音楽 : MP3 / WMA(DRM非対応) 画像 : JPEG
信号方式	NTSC / PAL(手動切換可能)
音声周波数特性	20Hz～20kHz
S/N比	90dB以上
ダイナミックレンジ	80dB 以上
搭載出力端子	HDMI端子×1 コンポーネント映像端子(Y、Pb/Cb、Pr/Cr)×各1 S1映像端子×1 コンポジット端子(黄、赤、白)×各1 光デジタル音声端子(角形)×1 同軸デジタル音声端子×1
電源	AC 100V(本体に直結)
消費電力	最大10W
動作温度範囲	5℃～45℃
動作湿度範囲	10%～85%(結露なきこと)
外形寸法	W260mm × D233mm × H55mm (突起部含まず)
重量	約1.3kg(本体のみ)

●仕様および本製品のデザインは、改良のため予告なしに変更することがあります。

故障修理について

故障・修理についてのお問合せは、下記のサービス窓口にてご相談ください。

サポート窓口	グリーンハウス　テクニカルサポート
ホームページ	http://www.green-house.co.jp/
サポートダイヤル	03-5421-0580
受付時間	10:00 ～ 12:00 / 13:00 ～ 17:00(土日祝日を除く、弊社営業日のみ)
FAX	03-5421-2266（24 時間受付）
住所	〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 1-19-15 ウノサワ東急ビル5階

※テクニカルサポートダイヤルの時間は、予告なく変更する場合があります。ご確認は弊社ホームページにてお願いいたします。

※サポートを受けるためにはユーザー登録が必要になります。弊社ホームページよりご登録お願いいたします。

※ご使用上のご質問、お問い合わせは弊社ホームページ内のお問い合わせフォームよりお願いいたします。
なお、お問い合わせの前に弊社ホームページ内「よくあるご質問」をご活用ください。

◆本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一誤りや記載漏れ等お気づきの点がありましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。

GHV-DV400Hシリーズ

〒150-0013　東京都渋谷区恵比寿1-19-15 ウノサワ東急ビル5階
テクニカルサポートダイヤル TEL : 03-5421-0580
グリーンハウスホームページ : http://www.green-house.co.jp/

Ver.1.0